

福祉 あいら



地域みんなで見守る
優しい始良市を目指して

オレンジカフェ「たまりば しげとみ」での様子（詳細は 8 ページ）



社会福祉法人
始良市社会福祉協議会
会長 久保良昭



明けましておめでとうございます。
市民の皆様には健やかな令和八年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

始良市は昨年、8月8日の豪雨災害で甚大な被害を受けました。市社協では、被災者の方々が一日も早く被災前の生活に復帰されることを願い各関係機関のご協力を得てボランティアを募集しましたところ、1,472名、延べ2,391名の方々のご参加をいただくことができました。復旧支援にご尽力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

ご存じのように近年、急速に進む少子高齢化や人口減少、経済の変動や物価高、格差拡大、外交問題、自然災害など社会を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。そのため福祉ニーズも多様化し、様々な制度の見直しや新たな取り組みが始まっております。

今年は午年、どうしても飛躍したいイメージが湧いてまいります。馬に関わる諺は数多くありますが、その中に「よか馬は風(北風)に向かい立つ」というのがございます。風とは困難や災害や試練などのことでしょう。その風に負けないように市社協では、今年も役員一同「笑顔と誠意」で頑張つてまいります。市民の皆様のこの一年のご多幸とご健康をお祈りいたします。

県シルバー文化作品展 受賞者のご紹介

令和7年度第34回シルバー文化作品展が鹿児島県及び県社会福祉協議会主催のもと開催されました。この作品展は、高齢者の方々が生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で、すこやかに安心して暮らせる長寿社会の実現を目指すことを目的に実施されています。

昨年9月、県内在住の満60歳以上のアマチュアが日本画、洋画、書、工芸、写真、彫刻の部門ごとに出品した211展の作品が県歴史・美術センター黎明館にて一般公開され、選考の結果、前回よりも7展多い、62作品が入賞となりました。始良市在住の入賞者は、次のとおりです。

■ 金 賞	洋 画	『母から娘へ』	坂元 知子
■ 銀 賞	日本画	『登山道をゆく』	大脇 幸則
■ 銀 賞	洋 画	『森の詩』	廣濱 悦子
■ 銅 賞	書	『岡元かの子の歌』	田中 睦子

金賞



銀賞



銀賞



銅賞



※令和8年度募集は、県社会福祉協議会のホームページに5月下旬ごろ掲載予定です。

県地域福祉推進大会 被表彰者のご紹介

10月31日、令和7年度鹿児島県地域福祉推進大会が川商ホールにおいて開催されました。永年にわたり社会福祉の増進に貢献された次の方々に対し、表彰状が授与されました。

■ 民生委員・児童委員

岩元 智子	藤谷亜太可	田中 茂子
中馬 了	田邊いつ子	

■ 社会福祉施設の長及び職員

新福 珠美	西田 直美	有園 陽子
大塚 雅子	上園貴美子	濱田 安恵
森尾加奈美	岩崎 孝博	

■ ボランティア活動(個人)

西堂路勝博	迫田 洋子	櫻木嘉代子
川寄 亮子	松田 幸一	

※勝手ながら、敬称を略させていただいております

苦情相談窓口を設置しています

本会が実施する事業の利用者からの苦情に対して、利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図ることを目的に苦情相談窓口を設置しています。

第三者委員の方々には、苦情解決における社会性・客観性を確保するとともに、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進する為の指導・助言を行っていただきます。

ご意見やご指摘がございましたら、次の窓口にご連絡下さい。皆さまのご意見等をもとに、福祉サービスの向上に努めてまいります。

■ 苦情相談窓口

始良市社会福祉協議会本所 TEL0995-65-7757

■ 第三者委員

諏訪脇 裕 脇田 満穂 森田千佳子

つながりが生んだ支援の輪

災害ボランティアセンター閉所

令和7年8月12日に開設した災害ボランティアセンターは、12月26日をもって約4か月半の活動を終え、閉所となりました。

期間中、県内外から多くのご協力をいただき、被災された方々の暮らしを支える大きな力となりました。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

8/12 災害ボランティアセンターを
加治木福祉センターに設置



重富サテライト設置(8/14~8/21)

▲開設後のボランティアの推移

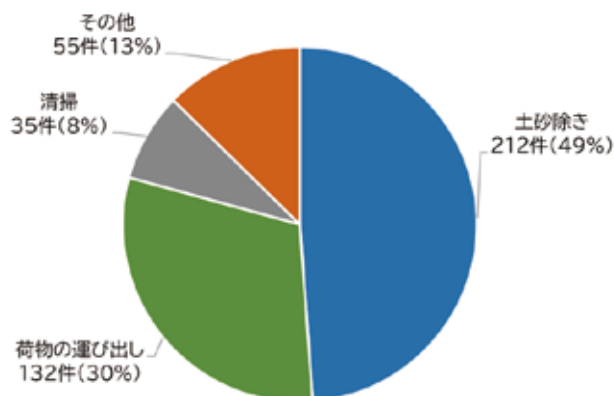
災害発生直後から、多くの皆様が「何か力になりたい」と集まり、家屋の片づけ、土砂の撤去、物資の仕分け、見守り活動など、さまざまな支援を行っていただきました。

そのお力添えにより、多くの困りごとが解決し、地域には少しずつ日常の暮らしが戻りつつあります。

活動を通して生まれたつながりは、地域のかそのものです。



▲10代~80代まで、個人・団体・企業の方が幅広く参加



▲依頼内容の半分が土砂除きとなった



今回の災害で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、皆様の穏やかな日常が戻りますことをお祈りいたします。

また、活動を支えてくださった温かい応援のお気持ちにも、重ねて感謝申し上げます。センターは閉所となりますが、今後もお困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。

これからも皆様と手を取り合いながら、支援を続けてまいります。



開設日数	延べ 43 日(一般 Vo)
受付ニーズ	延べ 333 件
派遣件数	延べ 507 件
終了件数	延べ 333 件
対象外 3 件、取消 44 件を含む	
ボランティア数	延べ 1,472 名
開設後派遣 Vo 数	延べ、2,391 名

令和7年度「図書の本」寄贈と贈呈式

青少年の健全育成を目的に、赤い羽根共同募金の助成を受けて市内の27校に221冊の「図書の本」を寄贈しました。今年度は、竜門小学校で贈呈式を行い、児童からありがとうメッセージが寄せられました。



▲贈呈式（代表：図書委員会のみなさん）

ありがとうメッセージ

今年も、ぼくたちのために、いろいろな本をくださり、ありがとうございました。

毎年、竜門小学校で集めている「赤い羽根共同募金」が、このように使われていることを初めて知り、とてもうれしくなりました。

いただいた本の中で、社会の教科書で学習した「源氏物語」が気になったので、さっそく借りて読んでみようと思います。そして、竜門小学校のみんなで、大切に読んでいきます。本当に、ありがとうございました。

がんばった証！ ～ボランティア活動カード認定者紹介～

児童・生徒のふれあいボランティア活動事業は、ボランティアに参加された児童・生徒の皆さんのカードにスタンプを押印し、10ポイント貯まるごとに認定証を発行する事業です。ポイントの付与や認定証の授与によりボランティア活動に参加するきっかけや活動を継続できる励みになることを目的に実施しています。未就学児向けのカードもありますので、興味のある方は社協までお問い合わせください。

今号では12月初めまでに新たに認定証を授与された児童・生徒の皆さんをご紹介します。

活動内容（抜粋）

- 地域イベントの手伝い
- 自治会内の清掃活動
- 防災研修
- サマーボランティア体験講座の参加 など

名人

50

ポイント



西浦小学校6年
中城 颯歩さん



三船小学校5年
花田 来斗結さん

上級

30

ポイント



帖佐小学校6年
井上 真菜実さん



西浦小学校2年
中城 瑛太さん

中級

20

ポイント



建昌小学校6年
長野 晴毅さん



帖佐小学校6年
小倉 涉椰さん



建昌小学校4年
長野 大地さん



建昌小学校2年
長野 空之介さん

初級

10

ポイント



帖佐小学校6年
福永 優希さん



帖佐小学校5年
大重 陽菜子さん



帖佐小学校3年
大重 明花里さん



帖佐小学校2年
谷口 詩葉さん

第62号の記事におきまして漢字及びふりがなに誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

（正）玉島 湊多さん （誤）玉島 奏多さん

（正）山口 侑真さん （誤）山口 侑真さん

『備え』は経験から生まれる ～災害ボランティア講座～

12月15日(月)、始良公民館で、本会登録ボランティアを含む地域住民の方々を対象に、災害ボランティア講座を開催しました。

昨年8月の豪雨災害で災害ボランティアとして活動された方々をはじめ、当日は50名を超える方々にご参加いただき、受講者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。

講師からは、災害に備えて平時から準備することの大切さや、始良市での被害の特徴など、実践的な内容が紹介されました。参加者からは、「有事に備え、日頃から顔の見えるつながりが大切だと思った」といった感想が寄せられました。



▲昼食時は、最新非常食の試食体験も。



▲本会職員
『始良市災害ボランティアセンター活動報告』



▲フードバンクかごしま 原田氏
『平時からの災害の備えについて』



▲ピースポート災害支援センター 川村氏
『"もしも"に強くなる私たちの備え
～地域を支えるチカラに～』

災害ボランティアとしての経験や課題などを詳しく聞くことが出来て本当に良かったです。日頃からの活動によって、すぐに動けることも知りました。ボランティアに携わる方々に心から感謝します。

ボランティアを行う前に、まず自分が自分のことを守れないといけない。特に「食」。慣れないものを「食べたことがある」にレベルアップするために練習の必要性を感じました。

今までは県外で災害が起こると大変だと思うばかりでしたが、今回は始良で起きました。断水もあり、水のありがたさも分かりました。ボランティアで助けて下さった方にも感謝しています。

サロンサポーター養成講座を開催しました！

10月から3か月にわたり、6会場全18講座を開催し、延べ298名の方が受講されました。受講者はたくさん笑い、身体を動かし、知識を深められました。

- ①転倒知らず！座ってつくる健やか習慣
いな整骨院 稲 浩平 氏
- ②伝えていこう♪わらべうた
宮崎リラの会 坂元 めぐみ 氏
- ③笑顔で健康！いきいき室内運動会
市社協 いきいきサロン担当職員



真冬の野外キャンプ～この冬の思い出～

12月25日(木)、北山野外研修センターでマナビバデイキャンプを実施しました。当日は雨が降るあいにくのお天気でしたが、13人の子どもたちが元気に参加してくれました。みんなで協力してかまどで火をおこし、お米を炊き、具材を煮込んだ美味しいカレーライスを作って食べました。デザートに焼き芋と焼きマシュマロを食べて身も心も温まりました。

また、『くすの木自然館』の浜本麦さんを講師にお迎えし、動物当てクイズや地球温暖化によって引き起こされる自然災害について遊びを取り入れながら学ぶことができました。電気の付けっぱなしや冷蔵庫の開けっぱなしなど“ぱなし”を無くすことを心がけるだけでも自然を守ることにすると改めて気付く機会になりました。



▲お米とぎや火おこしを体験。

日 時 毎月土曜日(登校日・祝日を除く) ※蒲生支所のみ第4土曜日のみ実施。
午前の部 10時～12時 / 午後の部 13時～15時 ※午前・午後いずれかの参加
場 所 市社協本所・加治木支所・蒲生支所
対 象 市内在住の小・中学生
お問合せ 電話(直) 0995-65-7042 公式LINEからも申込可能 事前予約制・要登録



Smile ガーベラ畑食堂（建昌小学校区）



子どもたちが安心して過ごせる“地域の居場所”をつくりたいー

そんな思いから生まれたのが「Smile ガーベラ畑食堂」です。お母さんお父さんが一食つくらなくていい日があるだけで、家族が笑顔で過ごせる時間が増えることもあります。その小さな支えになれるよう、地域の方々と一緒に子どもたちを見守りながら、誰でも気軽に立ち寄れる場を育てています。

物価高騰などの厳しさもありますが、「子どもたちの笑顔のため、困っている方に届くまで続けたい」という思いを胸に活動を続けています。

Smile ガーベラ畑食堂

- 場 所 整骨院ホワイトガーベラ
- 開催日 月1回(不定期)17:30～
- 対 象 子どもから大人までどなたでも
- 料 金 子どもは無料
- 内 容 お弁当やお菓子の配布
- 連絡先 smile.gerberabatake@gmail.com（担当:宮永）



もぐもぐ子ども食堂めぐり -vol.1-

多世代交流や地域づくり・まちづくりの場としても無くてはならない存在になっている子ども食堂。

子ども食堂では、子どもが一人でも安心して利用できるよう、地域の方たちが無料または低額で食事を提供しています。内容もさまざまで、食事だけでなく、体験や学習・交流の場などいろいろなカタチがあり、誰でも気軽に集まれるみんなの居場所です。

このコーナーでは、思いを伝える市内の子ども食堂を紹介します。（R7.12月末現在16食堂）

市社協では、子ども食堂が地域のあたたかい居場所として続いていくよう、支援とネットワークづくりを進めています



あいら子ども食堂協議会もぐもぐ

事務局 社会福祉法人始良市社会福祉協議会 本所内
始良市宮島町26-19 TEL 0995-65-7757

おしえて！

成年後見



成年後見人等にできないことは？

成年後見制度は、判断能力が不十分になった方の生活を法律面から支える大切な仕組みです。

成年後見人等は、財産管理や各種契約の手続き、サービス利用の調整など、日常生活を支える多くの役割を担います。一方で、「成年後見人等なら何でもできる」と誤解されることも少なくありません。

制度を正しく理解していただくためには、成年後見人等に認められている役割だけでなく、法律上できないことを知ることも重要です。できないことを知ることで、制度の限界や注意点が明確になり、より安心して制度を利用することにつながります。

今回は、成年後見人等に“できないこと”を中心に、知っておきたいポイントを紹介します。

※「成年後見人」「保佐人」「補助人」を総称して、「成年後見人等」と呼びます。

成年後見人等は、被後見人のために財産管理や身上監護を行います。一方で以下の行為を行うことができません。

できないこと	内容
医療行為そのものの同意はできません（手術）	入院手続や医療契約はできますが、手術や延命治療などの医療行為への同意はできません
身分行為（本人の人生に関わる決定）	婚姻・離婚、養子縁組・離縁、遺言の作成
保証人になること	施設入所等で保証人を求められても、保証人にはなれません
日常生活の事実行為	契約等の「法律行為」はできますが、実際の介護・買い物・家事などの“実務作業”はできません
本人との利益相反行為	成年後見人等自身が得をして本人が損をする可能性がある行為はできません。 （例）本人の財産を買い取る、本人の保証人になる等
死後事務（葬儀・遺品整理等）	本人の死亡で終了するため、葬儀・遺品整理・納骨等の死後事務は原則できません

お問合せ・ご相談は成年後見支援センターへお気軽にどうぞ

市成年後見支援センター（始良市社会福祉協議会内） ☎ 0995-65-7757



2026.2.1 福祉あいら (6)

香典返し寄付

このたび社会福祉のために役立てるようにとのご趣旨で本会にご寄付いただきました。お悔やみ申し上げますと共にこのご温情に応え、社会福祉の増進・充実に努めていきたいと存じます。誠にありがとうございました。

寄付者	故人	自治会	金額
杔良地区			
山元登茂子	山元 尚	松原下	1万円
宇都勝子	宇都静雄	鶴田	3万円
安田勝美	安田 勝	帖佐駅前	2万円
勇 眞佐子	藤崎アキ	池島町	3万円
森 弘道	肥後美恵子	星原	10万円
－	重森洋子	春花	－
田上耕治	田上シヅカ	奥山花	3万円
前田桂子	前田修二	栢山	2万円
脇之丸良子	比良 誠	黒瀬南	2万円
猿渡幹子	猿渡三継	堅野	2万円
寺師泰子	寺師浩則	西宮島町	5万円
崎山 操	崎山アサ子	山花	1万円
佃 昇治	佃 タツ子	大山	3万円
安満浩之	安満真寿美	東原西	5万円
川崎俊司	川崎トシエ	東原西	2万円
山藤健明	山藤キミエ	青葉台	2万円
永山令子	永山 榮	船津	3万円
岩切成子	岩切正廣	松原上	2万円
加治木地区			
中森眞知子	中森春志	隈原	10万円
森木美登里	森木 勲	隈原	3万円
城内鈴子	城内 耕	札立	3万円
谷口 涼	谷口悦子	西ノ原	－
東 良子	堀切テル	下新道	3万円
－	増井ミチ子	下浜	－
森岡万里子	石野千尋	石野	2万円
本村鈴子	外村千鶴子	西反土後	3万円
東川内 誠	東川内玲子	吉原	3万円
江口道子	江口 昇	弥勒	3万円
蒲生地区			
塚田正子	塚田 正	北下	3万円
松崎秀彦	松崎トシ子	おおくすたうん	5万円
伊地知トヤ	伊地知俊雄	迫上	3万円
田代康彦	田代タエ子	久末	2万円
厚地カツ	厚地孝二	町下	2万円
川田まるみ	肥田豊光	迫上	2万円
中條義博	中條伊津子	西	2万円

- 御芳名は10月1日から12月31日までに受け付けた寄付・会費について掲載しています。
- 非掲載希望の欄には(－)を表示させていただいています。
- 勝手ながら敬称を略させていただきます。
- 本誌の中で、「市社会福祉協議会」を「市社協」または「本会」と表記しています。

一般寄付

次の個人・団体より本会にご寄付いただきました。社会福祉の増進・充実に加え、大雨災害の復興支援および災害時のボランティア活動充実のために活用させていただきます。誠にありがとうございました。

寄付者	金額
ハーモニカサークル	3,394 円
はつらつ龍門サロン	3,200 円
永山裕子	－
土持スミ子（百寿記念）	10,000 円
小坂克彦	3,000 円
旅の途中一同	35,000 円
五反田伸一	10,000 円
「頭と心の癒し&杔良・霧島復興支援イベント」参加者・協力者一同	11,630 円
囲碁同好会	20,000 円
山崎寿人・朱美	30,000 円

特別会員

日頃から本会の事業・運営に格別のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

1千円	
杔良地区民生委員児童委員協議会80名	市社協役職員5名
森田千佳子	

義援金・救援金に対するご協力をお願い

下記の義援金は、令和7年12月26日をもって受付を終了しました。皆さまからお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社へ送金させていただきました。多くのご協力に、心から感謝申し上げます。

○受付終了	金額
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	4,464 円
令和7年8月6日からの大雨災害義援金（鹿児島県内）	509,475 円

日本赤十字社では、次の義援金・救援金を募集しています。市社協本所及び各支所の窓口でお手続きできます。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

○受付中	
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	
令和6年能登半島地震災害義援金	
ウクライナ人道危機救援金	
Bangladesh南部避難民救援金	
中東人道危機救援金	
令和7年8月6日からの大雨災害義援金（被災地域全域）	
○新規受付（令和7年11月26日～）	
令和7年11月18日大分県佐賀関の大規模火災義援金	

※なお、本号発行後に新たな義援金の募集が行われる可能性があります。最新の情報は、日本赤十字社ホームページ等で随時お知らせされますのでご確認ください。

市社協ではホームページやSNSでイベント情報や各種お知らせ、申請書のダウンロードや手続きに関する情報を掲載しています。最新情報を手軽に確認できますので、ぜひご利用ください。



ホームページ



Instagram



認知症のある方やそのご家族が、安心して過ごせる居場所として市内3会場で月1回「オレンジカフェ たまりば」を開催しています。毎回、カフェの中で楽器演奏や歌などを披露して下さるボランティアの皆様にご協力いただいています。内容は、懐かしい曲の演奏や一緒に歌を唄うなど「楽しさ」や「温かさ」を大切にいただいています。音楽を通して自然な交流が生まれ、参加者の笑顔につながっています。「オレンジカフェ たまりば」でのボランティアに興味のある方は本会までお気軽にお問い合わせください。



▲オカリナ演奏 加治木こまどり
個人ボランティア 岩重俊一氏



▲絵本うたい屋 まっとう氏



▲ドリームひまわりによる楽器演奏



▲フローラルシャンテによるコーラス



▲萩原政治氏のハーモニカ演奏

今後のたまりばの日程

《2月》

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19 かじき	20 だじょう	21
22	23	24	25 しげとみ	26	27	28

しげとみ：重富地区公民館(始良市平松 6252)

だじょう：加治木福祉センター(加治木町本町 393)

かじき：加治木ふれんど薬局(加治木町新生町 130-3)

《3月》

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19 かじき	20	21
22	23	24	25 しげとみ	26	27 だじょう	28
29	30	31				

活動に対して理解を深め、今後に活かしたい

地域生活応援員養成講座・フォローアップ講座を10月15日に始良公民館にて開催しました。前半に行われたあいネット応援員養成講座では、社協から『あいネットの説明』、活動中の応援員による『活動発表』、後半のフォローアップ養成講座では、鹿屋市の社会福祉法人隣の会 齋藤鈴子氏から「有償ボランティアの必要性」と題してボランティア個人からNPO法人を経て、社会福祉法人と変遷していった流れや具体的な活動などお話しいただきました。

※地域生活応援事業(通称：あいネット)とは、有償ボランティアによる地域の支え合い活動です。

参加者の感想より

- ・長いボランティアの歴史について話を聞くことができて良かった。
- ・高齢者としての生き方そのものを考えるいい機会になった。
- ・自分も先々サービスを受ける側になるので、利用者さんの気持ちに寄り添いながらできる事業の微力でも力になりたいと思った。



社会福祉法人隣の会 齋藤鈴子氏



応援員活動発表 井藤良輝氏



情報交換会(グループワーク)